

(四月七日)
(警視六)

六日復六時辰より通同本山小境各支部ハ相前後
シテ會員大會ヲ開キ各役員會ニ於テ決議シタル事
項ノ外一時同勵行ノ件 銅山役員ニ檄文配布ノ件
等ヲ決議シ合十一時解散セリ

當夜會員者本山支部約千名通同支部約二百
名小境支部約百名シテ大會終了後陣説的意
見ヲ述ズル者アリシモ不穩ノ行動ナシ
右ノ外通同支部ニ於テハ銅山役員ノ感情ヲ害ス
サル事及秋葉時ヲ遅刻セサル様ニナシ監督者
ノ目ヲ偷ミラズ是業シ且坑内使用材料ヲ監費スル
コト等申合セタル模様ナリシ (四月七日 柳木 記)

其後聯合會ハ湖川ニ檄文其外ノ同屬物(雁鴨散標)
ヲ利用シ各方面ニ宣ハルニ是業示威運動決行 鉦
毒問題ヲ楯ニ會社ヲ誹謗スル等ノ宣傳ニ努メ一面
新報紙(東京長田)等ニ宣傳記事掲載ノ交渉中
ナリト云フ

今其ノ主ナルモノヲ舉グシハ右ノ如シ

- (一) 七日本山坑口附近ニ揚示セルモノ
雇人ノ面分ヲ拒絶し耻ぢざるは頑迷不
態度の資本家に猛者を促すの所

四月七日 急業断行 四月十日 示威運動断行
注意は各自の自為的ニ待マシ
(二) 全出ニ於ケル各支部其他ノ団体並ニ諸鉱山ニ對シ
送ノ計畫ハアルモノ